

## 宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョン(後期) 進捗状況

重点プロジェクト	平成30年度実績	令和元年度予定
<b>①すべての市民が文化芸術を鑑賞・体験できる環境をつくります</b>		
1-1 文化芸術活動と鑑賞機会の確保	(1)市内全ての幼稚園・保育園、小・中学校や福祉施設・病院、コミュニティ・センターでアウトリーチ事業を実施した。[87回、参加者数11,374人]	(1)幼稚園・保育園、小・中学校や福祉施設・病院、コミュニティ・センターでアウトリーチ事業を実施する。[80回実施予定]
(1)宗像ユリックスアウトリーチ事業		
1-2 宗像ユリックスでの鑑賞機会の創出	(1)音楽(クラシック)15本、音楽(クラシック以外)12本、名画シアターなど映画12本、百円寄席などの演劇・古典芸能1本、美術3本、アウトリーチ87本、ワークショップなどのその他59本を実施した。 [総合計191本、総入場者数50,713人] (2)平成30年11月15日(木)に市内小学4年生を対象にして宗像ユリックスハーモニーホールで、九州管楽合奏団による演奏会を実施した。[午前公演456人、午後公演506人 総合計962人(引率教師含む学校来場者数)] (3)平成31年2月2日(土)から同年2月24日(日)までの期間、宗像ユリックス美術ギャラリーで、福岡県立美術館所蔵品巡回展(「大きなクスの木の下で」美術展Vol.10)を実施した。[来場者数1,246人]	(1)クラシック音楽を中心として、一般や子ども、家族といった多くの方を対象にした各種コンサートを実施する。 (2)令和元年11月7日(木)に市内小学4年生を対象にして宗像ユリックスハーモニーホールで、九州管楽合奏団による演奏会を実施する。 (3)「大きなクスの木の下で美術展」は、中村研一・琢二の出身地であり、生家美術館のある唐津街道原町で開催し、景観保全と同街道沿いを中心とした地域の生活・文化の向上と活性化を目的に活動する「原町よりみち会」と共同で、まち歩きなどを取り入れた「まちづくり」につなげる取り組みを行う。
(1)宗像ユリックス文化芸術鑑賞事業		
(2)小学校4年生文化芸術鑑賞事業		
(3)「大きなクスの木の下で」美術展		
1-3 文化芸術の体験機会の創出	(1)平成30年8月19日(日)に親子対象伝統文化体験プログラム(華道・舞踊・民謡・詩吟・謡曲・三曲)を実施した。[参加者数16人] 小・中学校での伝統文化出前授業を6回(茶道1回、華道2回、三曲3回)実施した。 平成31年3月21日(木・祝)に一般の人を対象にした伝統文化出前コンサート(三曲)を宗像ユリックス内レストランで実施した。[来場者数78人] (2)平成30年7月22日(日)に「ジャジャジャジャーンで始まる! わくわく・ドキドキオーケストラ体験!! Vol.5」を宗像ユリックスハーモニーホールで実施した。[来場者数479人] 平成30年9月29日(土)・30日(日)に開催した宗像ミューズ音楽祭の中で、「楽器で遊ぼう! 音のミュージアム」を実施した。[来場者数1,500人] ユリックスジュニアプラスは毎週火曜日(17~19時)、宗像ユリックスで練習を行い、プリンセス女子駅伝、キャンドルガーデンナイトクリスマス(グローバルアリーナ)等の様々な場面で演奏を行った。 (3)一般財団法人地域創造の「公共ホールダンス活性化事業(実施期間3年のうち1年目)」を活用し、ワークショップを実施した。 ・事前ワークショップ 平成30年8月9日(木) 宗像ユリックス・リハーサル室 参加者9人(ユリックス職員他) ・子どもを対象にしたワークショップ 平成30年12月6日(木) 玄海東小学校(3・4年生対象) 平成30年12月7日(金) 河東西小学校(4年生対象) ・学生を対象にしたワークショップ 平成30年12月8日(土) 福岡教育大学 ダンス部17人	(1)令和元年8月18日(日)に親子対象伝統文化体験プログラムを実施する。[参加者40人] 小・中学校での伝統文化出前授業や一般の人を対象にした伝統文化出前コンサートを実施する。 (2)宗像ユリックスで「わくわく・ドキドキオーケストラ体験!! Vol.5」「わくわく・ドキドキオーケストラと遊ぼう」を実施する。 令和元年9月22日(日)・23日(月・祝)に開催する宗像ミューズ音楽祭の中で、前年度同様に音楽体験イベントを実施する。 ※台風17号の接近により中止 ユリックスジュニアプラスは毎週火曜日(17~19時)、宗像ユリックスで練習を行い、むなかたこども芸術祭や宗像漁協漁師まつり等のイベントにおいて演奏する。 (3)一般財団法人地域創造の「公共ホール現代ダンス活性化事業(実施期間3年のうち2年目)」を活用し、公募型ワークショップやアーティストのレパートリー作品の上演を行う。
(1)伝統文化次世代継承事業		
(2)音楽体験事業		
(3)公共ホール現代ダンス活性化事業【新規】		
<b>②文化芸術のつくり手の活動を支えます</b>		
2-1 市民文化芸術活動の発表機会の充実		(1)四大文化事業を実施する。

<p>(1) 四大文化事業の開催</p> <p>(2) 宗像ミアーレ音楽祭市民ステージの設置</p> <p>(3) アマチュア団体・個人の発表の場の提供【後期～】</p>	<p>(1) 四大文化事業を実施した。 ・芸術祭;平成30年6月16日(土)・17日(日) 【来場者数 2,095人】 ・吹奏楽祭;平成30年7月1日(日) 【来場者数 1,800人】 ・文化祭;平成30年10月13日(土)～12月2日(日) 【来場者数 2,498人】 ・子ども芸術祭;平成30年10月8日(月・祝) 【来場者数 869人】</p> <p>(2) 宗像ミアーレ音楽祭で、宗像ユリックス館内外に市民ステージを設け、子どもから大人までが出演した。 ホワイエ ステージ(大人)[24組 271人] ホワイエ ステージ(子ども)[36組 41人] イベントホール ステージ[11組 39人]</p> <p>(3) 毎月第3木曜日に宗像ユリックスレストランでのコンサートを実施し、宗像市内を中心とした団体・個人の発表の場を設けた。</p>	<p>・福岡 I ブロック芸術文化のつどい;令和元年11月17日(日) ※ふくおか県民文化祭2019福岡 I ブロック芸術文化のつどいが開催されるため、芸術祭は開催しない。 ・吹奏楽祭;令和元年7月7日(日) 【来場者数 1,800人】 ・文化祭;令和元年6月15日(土)～6月30日(日) 【来場者数 1,708人】 ・子ども芸術祭;令和元年10月13日(日)</p> <p>(2) 宗像ミアーレ音楽祭で、前年度同様に市民ステージを設ける。 ホワイエステージ(大人)[23組 282人] ホワイエステージ(子ども)[47組 54人] レストランステージ[15組 43人] イベントホールステージ[17組 125人] ※台風17号の接近により中止</p> <p>(3) 宗像ユリックスレストランでのコンサートを、毎月1回第3木曜日に実施する。</p>
---	---	---

<p><b>2-2 若手芸術家の育成支援</b></p> <p>(1) 大学生のアウトリーチ出演 (2) 吹奏楽部員音楽指導【後期～】</p>	<p>(1) 平成30年9月20日(木)に宗像ユリックスで開催したレストランコンサートにおいて、福岡教育大学院生(音楽専攻)トリオ「チェカ」が出演した。 ※クラリネット、ヴァイオリン、ピアノの演奏 (2) 九州管楽合奏団の団員48名が市内中学校吹奏学部に出向き、奏法指導・合奏指導を実施した。[指導中学校 6校、参加者数 夏季180人、冬季207人] この演奏指導を平成30年11月25日(日)に開催した宗像市・福津市の中学・高校・大学の吹奏学部・市民吹奏楽団・ユリックスジュニアブラスによる「ミアーレ吹奏楽団500人コンサート」につなげた。 平成31年3月27日(土)、28日(日)の2日間で、中学校吹奏学部を対象とした楽器クリニックと吹奏楽コンクール課題曲コンサートを実施した。[参加中学校6校、参加者数213人]</p>	<p>(1) アウトリーチ事業を実施する際、引き続き大学生の活用も検討する。 (2) 市内中学校吹奏学部九州管楽合奏団団員48名が出向き、奏法指導と合奏指導を実施する。 令和元年11月24日(日)に宗像市・福津市の中学・高校・大学の吹奏学部・市民吹奏楽団・ユリックスジュニアブラスによる「ミアーレ吹奏楽団500人コンサート」を実施する。 令和2年3月に中学校吹奏学部を対象とした楽器クリニックと吹奏楽コンクール課題曲コンサートを実施する。</p>
<p><b>2-3 データベースの構築と拡大</b></p> <p>(1) データベースの作成・活用 (2) データベースの拡大</p>	<p>(1) 宗像ミアーレ音楽祭に参加した団体等の情報を集約し、レストランコンサート等の事業で活用した。 (2) 交流サロンの開催に合わせて、今後、実施予定。</p>	<p>(1) 市と宗像ユリックスが連携し、音楽分野だけでなく、様々な芸術分野でのデータベースの作成・活用を行う。 (2) 交流サロンの開催に合わせて、今後、データベースの拡大を行う。</p>
<p><b>2-4 ネットワーク形成の促進</b></p> <p>(1) 講演会や交流サロンの開催【後期～】</p>	<p>(1) 農家、教員、デザイナー等が集う地域交流拠点(バー洋子)を視察し、交流や情報収集を行った。</p>	<p>(1) 文化芸術関係者等が集う「交流サロン」を開催し、市民の文化芸術活動を活性化させるとともに、ユリックス職員のコーディネート能力の向上につなげる。</p>
<p><b>③文化芸術を活用したまちづくりを推進します</b></p>		
<p><b>3-1 文化芸術活動団体助成事業</b></p> <p>(1) 文化芸術活動事業補助金</p>	<p>(1) 「M.M.S.T」「LIFESTYLES展実行委員会」「風と踊ろう」の3団体への助成を行った。</p>	<p>(1) 補助金応募団体からの事前相談に、より丁寧に応じるなどし、効果的な文化芸術活動事業補助金の助成を行う。</p>
<p><b>3-2 文化芸術の他分野への活用</b></p> <p>(1) 高齢者施設文化芸術ワークショップの開催 (2) 子育て文化芸術ワークショップの開催【後期～】 (3) 障がい者を対象とした文化芸術活動の調査・研究【後期～】</p>	<p>(1) 福祉施設の入所者や通所者を対象とした「いきいき出前コンサート」を14回実施した。 (2) 宗像ユリックスとコミュニティ・センターで未就学児とその親を対象にした「すくすくコンサート」を12回実施するとともに、子育ての不安やストレスの解消などにもつながるよう参加した親間の交流を図った。 (3) 共生社会の実現につなげるため、東郷小学校特別支援学級児童(1～6年生)を対象にした文化芸術ワークショップを開催した。 ・7月18日 9時～10時30分 音楽紙芝居、作品創作活動などを実施 ・9月27日 9時～10時30分 マリンバの演奏鑑賞と体験、打楽器の演奏などを実施</p>	<p>(1) 福祉施設の入所者や通所者を対象とした「いきいき出前コンサート」を継続して実施する。 (2) 宗像ユリックスとコミュニティ・センターで未就学児とその親を対象にした「すくすくコンサート」を継続して実施するとともに、子育ての不安やストレスの解消などにもつながるよう参加した親間の交流を図る。 (3) 市内小学校特別支援学級などで、文化芸術ワークショップを実践し、文化芸術に触れる機会を提供するとともに、事業を通して関係者の人材育成にもつなげる。</p>
<p><b>3-3 市の魅力となる文化芸術の創出</b></p> <p>(1) 音楽があふれるまち・宗像【後期～】 (2) 宗像ミアーレ音楽祭</p>	<p>(1) (2) 宗像ミアーレ音楽祭を開催するとともに、コミュニティ・センターや学校、福祉施設等でのアウトリーチ事業「いきいき出前コンサート」を実施した。</p>	<p>(1) (2) 宗像ミアーレ音楽祭を開催するとともに、コミュニティ・センターや学校、福祉施設等でのアウトリーチ事業「いきいき出前コンサート」を実施する。宗像ミアーレ音楽祭の開催に合わせて、赤間駅に駅ピアノを設置。(令和元年9月18日～30日)</p>
<p><b>3-4 国際交流を通じた文化芸術活動の促進</b></p> <p>(1) 国際交流による文化芸術活動の推進【後期～】 (2) 大規模国際大会を契機とする文化芸術活動の推進【後期～】</p>	<p>(1) 10月～11月にかけて、金海市大成洞博物館と海の道むなかた館の学芸員が互に行き来し、文化財保護事業の実態調査や情報交換を行った。 (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けてブルガリア柔道選手団が本市で事前キャンプを行っている期間中、文化交流を行った。 ・平成30年 8月16日(木)～30日(木) 市民との食文化(そうめん流し)を通じた交流 ・平成30年11月19日(月)～30日(金) 宗像高校茶道部との茶道を通じた交流</p>	<p>(1) 10月～11月にかけて、金海市大成洞古墳博物館と海の道むなかた館学芸員が互に行き来し、文化財保護事業等の実態調査・情報交換を行う。 (2) 令和元年度もブルガリア柔道とロシア女子ラグビーの選手団が、年間を通じて2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けての事前キャンプをすることになっており、選手団との交流を通じた文化芸術活動の促進を図る。</p>

④歴史文化資源を保存・活用・継承します		
4-1 歴史文化資源の把握	(1)宗像市内外に点在する歴史資料の収集及び調査研究・原稿編集を行い、新修宗像市史『うみ・やま・かわ』(自然編)を刊行した。  (2)修験道の道、大島・地島等の年中行事等の聞き取り調査を実施、述べ141人の市民協力員の協力があった。	(1)宗像市内外に点在する歴史資料の収集及び調査研究・原稿編集を行い、新修宗像市史『あすの宗像』(社会・学校教育編)を刊行する。  (2)市民協力員と宗像市内の民俗調査等を実施する。
4-2 文化財等の保存・活用・継承	(1)世界遺産を核としたふるさと学習の拠点施設として、市内小中学校から約1,500人の児童・生徒を受け入れた。また、小学校を中心とした出前講座も実施した。  (2)「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界文化遺産登録され1年となった。県、福津市及び当市で組織する「保存活用協議会」において1周年記念イベントを開催したほか、情報発信、研究活動及び構成資産と緩衝地帯の保存管理に取り組んだ。当市においては、「宗像神社境内保存活用計画」の改訂をはじめ、整備基本計画や世界遺産ランドデザイン(仮称)の策定を検討した。また、コミュニティや各種団体で構成する「宗像市世界遺産市民の会」を立ち上げ、保全活動や啓発事業に取り組んだ。  (3)田熊石畑遺跡は、周年祭、秋祭り、村っ子づくり事業、歴史講座等を実施し、約28,000人の来園者があった。国史跡田熊石畑遺跡の追加指定地の整備(芝張り・柵設置)を行った。  (4)「八所宮御神幸行事」(無形民俗文化財)の市指定を行った。  (5)市大井収蔵庫のほか、関連する宗像大社神宝館・福岡教育大学郷土資料室の整理及び台帳化を進めた。	(1)引き続き、世界遺産を核としたふるさと学習の拠点施設として、市内小中学校からの児童・生徒を受け入れるとともに、小学校を中心とした出前講座も実施する。  (2)保存活用協議会において、公開活用及び保存管理に関する事業を実施する。当市事業として、国指定史跡「宗像神社境内」保存活用計画の改訂、「宗像神社境内」整備基本計画、世界遺産ランドデザイン(仮称)の各種計画を完成させ、保存管理の実効性を高める。また、市民の会等、市民協働による保存と活用の取り組みを推進する。  (3)田熊石畑遺跡歴史公園で秋祭り・周年祭・村っ子づくりのイベント事業(協働委託)、歴史講座等を開催する。  (4)2年かけて策定する歴史文化地域計画において指定文化財候補の選定を進める。  (5)市収蔵庫、神宝館整理及び台帳化を進める。
4-3 郷土文化学習交流館(海の道むなかた館)等の活用	(1)入館者数約180,000人。第2展示室では寄贈を受けた納富賢智の絵画展や児童絵画展等を開催した。特別展示は、平成31年1月～2月にかけて漫画「宗像教授異考録」の原画と併せ、内容に即した考古学資料を展示した。告知は広報紙・ホームページ上等で告知した。  (2)世界遺産ガイダンス機能強化のため、世界遺産の意義と価値を伝える展示パネルをリニューアルし、大型スクリーンに投影する映像コンテンツ3本を製作した。  (3)大島の蝶と植物をテーマにした「大島自然展」を、7月21日から10月31日まで開催した。島の行事との連携や、島民ボランティアによる館内解説などを行い、交流拠点としての役割を担っている。平成30年度の来訪者数は約26,000人。	(1)特別展示は、平成31年10月～12月にかけて、宗像地域の歴史や文化に理解を進めるため、さまざまな役割を担った「地図」を題材とした「地図展(仮称)」を開催する。  (2)世界遺産コーナーは、地域学芸員等の要望や提案を聞きながら適宜改良を行う。また、宗像大社辺津宮からの誘導が図られるよう、サインなど動線の検討を行う。  (3)大島の「食」をテーマにした企画展を開催予定。島の行事との連携や島民ボランティアの活用を引き続き行う。
4-4 地域学芸員の養成	(1)企画展示に伴う説明会のほか、地域学芸員の運営等について意見交換会を実施した。  (2)海の道むなかた館で延べ約2,249人の地域学芸員が館内案内ガイドの協力活動を行った。第3期地域学芸員養成講座を実施し、新たに24人の地域学芸員が誕生した。	(1)地域学芸員の資質向上のため、ステップアップ講座を実施する。企画展示に伴う説明会のほか、地域学芸員の運営等について意見交換会を実施する。  (2)年間を通じて来館者に対応できるよう引き続き協力を依頼する。

⑤文化芸術に関する総合的な仕組みをつくります		
5-1 元気なまちづくり基金の活用		
(1) 基金果実有効活用	(1)元気なまちづくり基金の益金を活用し、小学4年生芸術鑑賞事業、文化芸術活動事業補助金などの事業を実施した。	(1)元気なまちづくり基金を活用し、小学4年生芸術鑑賞事業、文化芸術活動事業補助金などの事業を継続させる。
5-2 宗像ユリックスの拠点機能強化		
(1)文化芸術のまちづくりの10年ビジョンの推進【後期～】 (2)コーディネーターの養成及び相談への対応	(1)宗像ユリックスでの芸術鑑賞事業やアウトリーチ事業など、市と連携し、ビジョンを推進した。  (2)全公文が実施する「全国劇場・音楽堂等アートマネジメント研修会」や(一財)地域創造の「地域創造フェスティバル」に職員を派遣し、先進地の事例習得などに努めた。	(1)芸術鑑賞事業だけに留まらず、交流サロンの開催や文化芸術の他分野活用など、新規の取り組みに着手する。  (2)積極的な外部研修の参加や先進地視察の実施などを通じて、コーディネーターのスキル向上を図る。特別支援学級での文化芸術ワークショップや現代ダンス活性化事業(主催:地域創造)の取り組みなどを通じてコーディネート力の向上を目指す。
5-3 文化芸術に関する学校・地域との連携		
(1)大学との協働・連携【後期～】 (2)幼稚園、保育所、小学校、中学校、高校等との連携【後期～】 (3)コミュニティ運営協議会等との連携【後期～】	(1)ミアーレ吹奏楽団500人コンサートにおいて、福岡教育大学の吹奏楽部が出演した。レストランコンサートにおいて、福岡教育大学院生(音楽専攻)の学生3人が出演した。  (2)市内全ての幼稚園・保育所(21回)、小学校(18回)、中学校(6回)で「いきいき出前コンサート」を実施した。小学4年生文化芸術鑑賞事業を実施した。  (3)コミュニティ運営協議会から負担金をもらい、各コミュニティ・センターで「いきいき出前コンサート」を開催した。	(1)ミアーレ吹奏楽団500人コンサートにおいて、福岡教育大学の吹奏楽部の出演に向け、連携を図る。  (2)「いきいき出前コンサート」において、幼稚園・保育所・小学校・中学校と宗像ユリックスが連携を図り、実施する。小学4年生文化芸術鑑賞事業において、各小学校と宗像ユリックスが連携を図り、実施する。  (3)平成30年度に引き続き、コミュニティ運営協議会と宗像ユリックスが連携を図り、「いきいき出前コンサート」を実施する。
5-4 10年ビジョン検証・評価		
(1)10年ビジョン検証・評価委員会	—	市民文化・芸術活動審議会の中で、後期ビジョンの取り組みについて検証・評価を行う。あわせて、平成23年度から10年間のビジョン全体を通して、検証・評価を行う。